8-1-8 広報戦略委員会

1. 広報戦略委員会の概要

建設コンサルタントは、国内外の社会資本整備・維持の中で重要な役割を果たしてきている。しかしながら、その役割・存在価値は国民に十分に周知理解されていないのが現状と言える。

業界の担い手確保という観点から、優秀な若者が興味と期待を持って活躍できる活性化した産業として建設コンサルタントが認知されるためには、「安全・安心」「経済活動」「快適な暮らし」を支える基盤づくり、明るい未来社会のための基盤づくりを担う産業であることを多くの方々に理解していただくための工夫が必要である。

そのため、社会インフラの意義と必要性、建設コンサルタントの役割・存在価値について、情報発信や広報活動を効果的かつ戦略的に行うことがこれまで以上に重要であり、協会としての戦略的な広報を実践するために、協会会員企業における個別の企業広報活動と協力しながら、国、関連業界、学会等の広報活動の取組みとの連携や、各団体での役割分担などに配慮して、近年拡大が利用されている SNS 等の技術活用を含めた効果的な広報のあり方を整理し、取組みを進める必要がある。

社会インフラをハード・ソフトの両面から支える建設コンサルタントの持続的な発展に向けて、広報戦略委員会は「建設コンサルタント(業界)」の存在を社会に知らしめることを基本理念に、「人材の確保」「選択と集中」「適切な役割分担」を活動方針として定め、広報活動を実践している。

2. 主な活動の記録

令和 6 年度の広報戦略委員会は、7 月及び 3 月に開催した。

(1) 7 月に開催した第 1 回広報戦略会議では、中期行動計画並びに令和 6 年度の広報実施計画を確認するとともに、3 つの専門委員会の活動内容を確認し、協会の広報活動に関する意見交換を行った。協議内容は以下のとおり。

- a) 中期行動計画、令和 5 年度広報活動報告及び令和 6 年度実施計画報告
 - b) 広報専門委員会の活動報告
 - c) 広報事業専門委員会の活動報告
 - d) 会誌編集専門委員会の活動報告
 - e) 広報活動に関する意見交換
 - ・ 業界を志望する人財の拡大に向けて SNS やフォト大賞の応募作品の活用を通じて一般、社会人、学生、小中学生等を対象に幅広い活動により広報の効果を高めていく重要性が確認された。
- (2) 3 月に開催した第 2 回広報戦略会議では、3 つの専門委員会の活動内容を確認し、協会の広報活動に関する意見交換を行った。協議内容は以下のとおり。
- a) 広報専門委員会の活動報告
 - ・ 建コン若手社員へのアンケート調査、ゼネコンや建設関連業のリクルート活動の調査を行い、今後の広報の取り組み方針の検討を進めることとした。また、各支部が実施しているリクルート活動について、事例を共有し協会ホームページに集約し掲載した。これらの取り組みにより、建設系志望の学生を広報の力で増やすような取組みを進めることの有効性を確認した。
 - b) 広報事業専門委員会の活動報告
 - ・ フォトコンテストの作品の活用策等について提案があった。
 - ・ 協会誌のモニタリング結果について報告があった。
 - c) 会誌編集専門委員会の活動報告
 - ・ 年 4 回の会誌の発行及び「インフラ整備 70 年」を年 2 回、会誌に同梱して配布することが報告された。
 - d) 広報活動に関する意見交換
 - ・ 人財確保に向けては幅広い世代や多様なバックグラウンドを持つ学生などを対象に出前授業やインフルエンサーの活用などを通じて発信していくことが重要である。
- (広報戦略委員会委員長 福岡 知久)